

1. 単元名 「七城米のすばらしさを伝えよう」

2. 単元の目標

○七城米の歴史や米づくりについて学ぶ活動を通して、先人たちや生産者の方々の努力と知恵、米づくりにかける熱い思いを感じ取ることができる。 (知識・理解)

○米づくり体験を通して、七城米の美味しさの秘密や伝統の価値について考えを深め、その素晴らしさを、相手意識を持って工夫し、分かりやすく発信・表現することができる。

(思考力・判断力・表現力)

○米づくりを支える地域の人々や豊かな自然に心から感謝し、米づくりとふるさと七城町への愛着と誇りを持って、地域を大切にしようとするすることができる。 (主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本単元は、「七城米の伝統的な米づくり体験」「七城米の歴史」「校内外での販売のための発表や発信」を教材として取り上げる。

七城町の米づくりは、地域ブランド「七城米」がもつ歴史、豊かな自然環境、そして伝統的な知恵が凝縮されている。特に塩水選や苗床の世話といった初期工程から体験をすることで、児童は米づくりに込められた先人や生産者の知恵と熱い思いを深く感じ取り、生産者としての当事者意識をもつことができる。

米づくり体験や七城米の歴史を学ぶ活動を通して、児童は七城米の「美味しさの秘密」や「伝統の価値」を自ら深く考察し、米づくりを支える人々や自然への感謝の念とともに、「七城の米づくり」という地域の伝統に対する誇りと愛着、ふるさと七城町を大切にしようとする愛郷心を育むことができると考える。

(2) 児童観

本学級の児童は、3・4年生で生産活動「ジャガ玉プロジェクト」を通して、自分たちの手で食べ物を生産する体験をしている。また、これまでの生活経験から七城町と言えば米づくりが盛んであることは理解している。加えて、普段から地域の行事やニュースに関心をもつ児童が多く、探究活動には意欲的である。

一方で、米づくりに取り組んでいる家庭は少なく、「七城米」が有名であることは知らない児童が多い。田植えや稲刈りも、学校行事や保育園の体験活動のみの児童がほとんどであり、米づくりに対する具体的なイメージもなく、生産者の苦労も知らない。

そこで、5年生では、「伝統的な七城米の作り方」に焦点を当てることで、「七城米」に込められた先人の知恵や熱い思い、そして米づくりの手間を学ぶ。特に、あえて無肥料・無農薬にこだわることで手間が増えてでも安全・安心な米を届けたいという地域の願い、そしてそれを実現するための知恵や技術に気づくことで、米の価値を多角的にとらえることができると考える。

### (3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず七城町の魅力について意見を出し合う場を設ける。「米」や「メロン」が出てくることが予想されるが、児童の多くはどのようにして七城の「米」が有名なのか、その背景を深く理解していない。そこで、米作りの導入として地域の生産者の方に七城米について講話を依頼し、その素晴らしさに気づかせる。このことを通して、「七城米」の存在と、無肥料・無農薬で安心・安全な米作りに励んでいる人々がいることについて理解させる。さらに、肥料や農薬を使うことのメリットやデメリットを踏まえた上で、どのような米作りをしていきたいのか児童自らが選択し、主体的に取り組むことができるようにする。その際にはこれまでの先輩たちがどのような思いで「無肥料・無農薬」を選択してきたのかという歴史的背景にも触れておく。

次に、塩水選からエコホープ付け、種まきや苗床の管理など一つ一つ手作業で行い、種の発芽や苗の生長を丁寧に観察させる。米作りに必要な八十八の手間を部分的ではありながらも体験することで食べ物への感謝の気持ちを育む。

次に、田植えや稲刈りなどを全校で行う際には、作業の方法を下級生に伝える活動を通して、高学年としての自覚を促す。どのような点に注意するのか、どんなところに気を付けるといいのかわかりやすく発信することで、田植えや稲刈りについての理解をさらに深めていきたい。

次に、自分たちが作った米を給食で提供したり、販売したりすることで「生産者」としての実践的な体験を行う。その際には生産者として責任を持って衛生面に気を付けさせ、美味しさを伝える広告の仕方について深く考えさせる。七城米の魅力が何なのかを明確にし、発信の内容を練ることで、責任感と誇りをもつ生産者としての意識を育てるとともに、地域の伝統や自然への感謝を深め、ふるさとへの愛着を醸成する。

そして単元の終末では、七城米の歴史について深く学ぶ。七城町がもともと湿地であり米づくりの困難な環境であったところを、富田甚平氏の先進的な暗渠排水技術により克服し、豊かな米どころへと変貌した事実を押さえる。この学習を通して、「米づくり」が単なる産業ではなく、先人の熱い思いとたゆまぬ努力の結晶であることを理解させる。また、ふるさと七城町が、先人の強い意志によって築き上げられた宝物であるという認識をもち、地域に対する愛着と愛郷心を醸成する。

指導の全体を通して、各体験や探究活動の節目には必ず振り返りの時間を設け、3・4年生での「じゃが玉プロジェクト」との違いや、米づくりから学んだ「食と環境」、そしてふるさとの歴史への意識など、学んだことを言語化する。これにより、単なる体験活動で終わる事のないようにしていきたい。

### (4) ESD との関連

#### ・本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

相互性・・・米づくりを取り巻く自然、人、歴史のつながりを理解し、自分の生活が様々な支え合いの上で成り立っているとことに気づかせる。

連携性・・・多様な人々と協力・協働し、知恵や技術を共有しながら地域社会の一員として課題解決に貢献する態度を養う。

責任性・・・自己の行動と選択が未来や他者に与える影響を深く考え、地域を担う当事者としての自覚を育む。

### ・本学習で育てたいESDの資質・能力

進んで参加する態度

米づくりの方法（無肥料・無農薬など）について深く考え、その取組を自ら選択し、責任をもって主体的に実践する。また、七城米の魅力も多くの人に伝えるために、積極的に発信活動に参加する。

他者と協力する力

地域の生産者の方から知識や思いを学び、前項での田植えや稲刈りでは下級生に作業方法を分かりやすく伝えて、協働して活動を進める。また、米の提供や販売を行う際には、役割を分担し、協力し合って活動を成功させる。

つながりを尊重する態度

米づくりに必要な自然の恵みや先人たちの努力によって七城の米づくりが成り立っていることを理解し、感謝の気持ちをもって食べ物をいただく。また、ふるさとの歴史や伝統を未来につなぐ大切な宝物として尊重し、愛着をもって行動する。

### ・本学習で変容を促すESDの価値観

世代間の公正

先人から受け継いだ環境や伝統を、より良い形で次の世代に引き渡す責任がある。

自然環境、生態系の保全を重視する

安全な食や豊かな自然は、健全な自然環境と生態系によって支えられている。

幸福感に敏感になる、幸せを重視する

自分たちの世代だけが幸せであることが、将来的にも幸せであるとは限らない。

### ・達成が期待されるSDGs

2 飢餓をゼロに

12 つくる責任 つかう責任

17 パートナリーシップで目標を達成しよう

## 4. 単元の評価規準

| ア 知識及び技能  | イ 思考力・判断力・表現力等  | ウ 主体的に学習に取り組む態度  |
|---|---|--|
| ①七城米の美味しさの秘密や、それを支える富田甚平氏の暗渠排水技術など、米づくりの特徴や仕組みについ | ①米づくりの体験や歴史から、七城米の美味しさの秘密や、受け継がれてきた伝統の価値について、自分の考えを説明している。<br>②収集した情報を比較・関連付けながら、七城の米づくりが改良され | ①米づくり体験や地域の方との交流を通して、先人の知恵や地域の人々の努力を尊重し、感謝の気持ちを持って学習に取り組んでいる。<br>②得られた知識や地域での学びを活かし、七城の米づくりとふるさとへの |

|   |   |  |
|---|---|--|
| <p>て理解している。</p> <p>②米づくりの一連の流れや主要な作業について、順序立てて説明している。</p> | <p>てきた背景や人々の思いを多角的に分析し、課題解決の流れを考察している。</p> <p>③伝える相手や目的に応じて、資料や表現方法を工夫し、自分の考えを分かりやすく、効果的に発信・表現している。</p> | <p>愛着や誇りをもって、地域を大切にするための具体的な行動を自ら進んで行おうとしている。</p> <p>③学習活動や協働の状況を振り返り、学んだ知識や自分と違う考えを活かしながら、より良い課題解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。</p> |
|---|---|--|

## 5. 単元の指導計画（全54時間）

| 次 | 主な学習活動  | 学習への支援（・）  | 評価（△）<br>備考（・）  |
|---|---|--|---|
| 1 | <p>1 七城の米作りについて学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無肥料・無農薬だから安全・安心な米作りができています。</li> <li>・ぼくたちも安全で安心な伝統的な米作りをしていきたいな。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・GT（栽培委員）の方の話や先輩達の米作りの様子から七城米の魅力や伝統的に続けられてきた無肥料・無農薬の米作りのよさに気づくことができるようにする。</li> </ul>   | <p>ア①<br/>(知・技)</p>   |
| 2 | <p>2 七城の米作りを体験する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 塩水選</li> <li>(2) エコホープ浸け</li> <li>(3) 種まき</li> <li>(4) 苗床の管理</li> <li>(5) 田植え</li> <li>(6) 田んぼの管理</li> <li>(7) 案山子づくり</li> <li>(8) 稲刈り・脱穀</li> </ol> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当番制で苗や稲の管理をすることで、責任を持って米作りを行うことができるようにする。</li> <li>・米どころである七城町にある小学校として誇りを持つことができるよう田植えと稲刈りは全校で行う。その際学んだことを生かして5年生がその方法を教えたり、支援したりする。</li> </ul> | <p>イ①<br/>(思判表)</p> <p>ア②<br/>(知・技)</p> <p>イ③<br/>(思判表)</p> |
| 3 | <p>3 七城米を宣伝・販売する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無肥料・無農薬だから安全で安心だよということを伝えたいよね。</li> <li>・種から育てましたということ伝えたいな。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのようなことにこだわって米作りを行ってきたのかを振り返り、七城米の魅力を自分たちの言葉で発信できるようにする。</li> <li>・生産者として責任を持って衛生面に気を付けさせ、美味しさを伝える広告の仕方について深く考えさせる。</li> </ul>                   | <p>イ③<br/>(思判表)</p> <p>ウ①<br/>(態度)</p> <p>ウ②<br/>(態度)</p>   |
| 4 | <p>4 七城米の歴史について学びを深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富田甚平さんのおかげで米づくりがやりやすくなったんだね。</li> <li>・七城町がもともと湿地だったなんて初めて知った。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・七城町がもともと湿地であり米づくりの困難な環境であったところを、富田甚平氏の先進的な暗渠排水技術により克服し、豊かな米どころへと変貌した事実を押し返す。</li> </ul>  | <p>ア①<br/>(知・技)</p> <p>イ②<br/>(思判表)</p> <p>ウ①<br/>(態度)</p>  |

|  |   |   |  |
|--|---|---|--|
|  | <p>5 七城米の魅力についてまとめ、発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・七城の米づくりについて4年生に引き継ぎたいな。</li> <li>・ぼくたちが頑張ってきたことを保護者や全校に知らせていきたいな。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「米づくり」が単なる産業ではなく、先人の熱い思いとたゆまぬ努力の結晶であることを理解させる。</li> <li>・今のふるさと七城町が、先人の強い意志によって築き上げられた宝物であるという認識を持ち、地域に対する愛着と愛郷心を醸成する。</li> </ul> | <p>イ③<br/>(思判表)</p> <p>ウ③<br/>(態度)</p> |
|--|---|---|--|